

CONTENTS

大和ハウスグループの 将来の夢・理念体系	1
フジタの“高”環境づくり	3
トップメッセージ	4
目次・編集方針	5
フジタについて	6
フジタのあゆみと事業	7
フジタの“高”環境づくりの実現	9
リスクと機会	11
特集	13
フジタのまちづくり ～北4東6周辺地区 第一種市街地再開発事業～	
環境	
環境目標とマネジメント	17
気候変動の緩和と適応に向けて	21
生物多様性保全のために	23
工事が及ぼす環境影響への配慮	24

社会	
お客さま満足のために	25
協力会社と共に	27
安全な職場環境のために	29
働きやすさとやりがいのために	33
人財育成のために	36
地域・社会のために	37
ガバナンス	
コーポレート・ガバナンス	39
リスクマネジメント	42
コンプライアンス	44
主な外部表彰	47
第三者意見	48

編集方針

レポート発行にあたって

フジタ“高”環境レポートは、当社の理念、経営ビジョン、CSR活動の実績を一体的に開示し、すべてのステークホルダーの皆さまに当社の事業活動全体をご理解いただくことを目的に発行しています。「ガバナンス報告・社会報告・環境報告」の大きく3つの要素で構成し、それぞれの項目においてSDGsの視点で捉えた編集となるように心がけました。

本レポートの編集プロセスにおいて年度の活動成果を振り返り、自社の強みや課題を認識して今後のPDCAに生かすことで、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションの充実を図ってまいります。より多くのステークホルダーの方々にご意見をいただけるよう、「フジタ“高”環境レポート2023」のアンケートをPDF化し、本レポートのPDF版とともに当社ホームページ(<https://www.fujita.co.jp/sustainability/koukankyo/>)に掲載しております。

アンケート回答へのご協力をお願いいたします。お寄せいただきましたご意見、ご提言は今後の社会貢献・環境保全活動と、フジタ“高”環境レポートの制作に活用させていただきたいと考えています。

報告対象範囲

フジタ単体と一部関係会社 / グループ会社の情報を含んでいます。

発行時期

今回の発行：2023年8月
(前回の発行：2022年8月、次回の発行予定：2024年8月)

報告対象期間

2022年度(2022年4月～2023年3月)の活動を中心に記載していますが、一部直近の活動に関しても必要に応じて記載しています。

参考としたガイドライン

GRIスタンダード
環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」

主なコミュニケーションツールのご紹介



フジタについて

会社概要

会社名	株式会社フジタ(Fujita Corporation)
本社所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目25番2号
創業	1910年12月
設立	2002年10月
資本金	140億円
従業員数	3,443人(2023年4月1日現在)
建設業許可	国土交通大臣許可(特-4)第19796号
宅地建物取引業者免許	国土交通大臣(5)第6348号
業態	総合建設業
主な事業内容	建築・土木ならびに関連する事業

当社詳細については下記をご覧ください



海外支店 / 駐在員事務所 / 海外関係会社

- 上海事務所
- 香港支店
- フィリピン支店
- ソウル支店
- ハノイ事務所
- ホーチミン事務所
- メキシコ支店
- 台北支店
- バン格拉デシュ支店
- ドバイ支店
- インド事務所
- ヤンゴン支店
- マレーシア支店
- シンガポール事務所
- ドーハ支店
- ケニア支店
- ペルー支店
- フジタアメリカス
- 藤田(中国)建設工程有限公司
- フジタフィリピン
- フジタベトナム
- フジタインド
- フジタメキシコ
- フジタマレーシア
- フジタタイ

2022年度フジタ業績報告(連結)

建設業界においては、公共、民間建設投資ともに国内外の経済活動の持ち直しにより、概ね堅調に推移しているものの、原材料価格の高止まりや需給逼迫による建設コストの増加により、経営環境は厳しい状況が続きました。

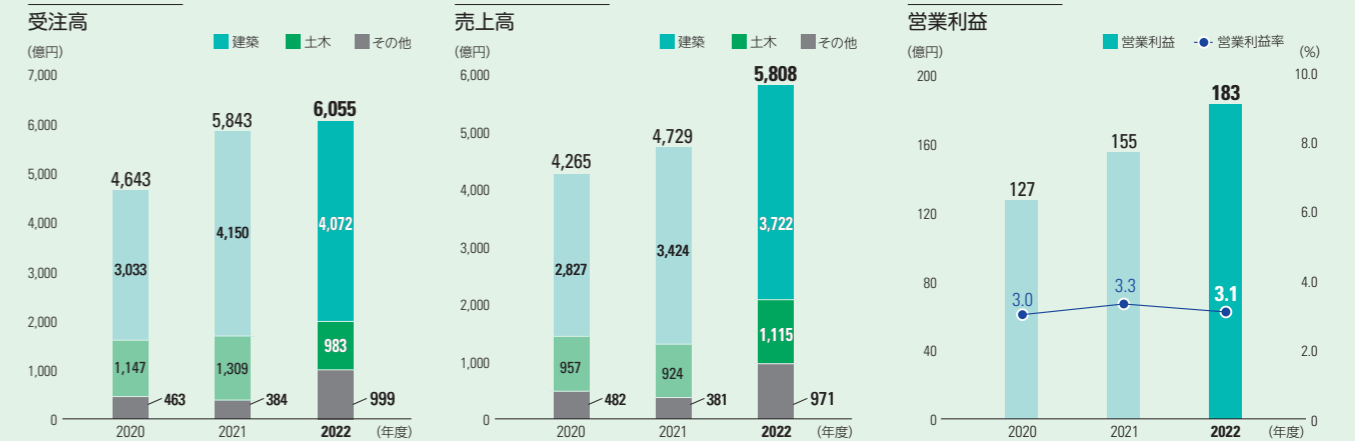
このような環境の中で、当社は新たに5か年の中期経営計画を策定し「変化をとらえ、強みを磨き、地球と未来に必要とされる会社に」のスローガンのもと、「顧客満足の追求」「業務改革による生産性向上」「ESGを軸とした基盤整備」、以上3点を重点方針として取り組んでまいりました。

経営成績につきましては、受注高は主に土木の国内官庁が前期に

比べ減少したものの、不動産物件売却により開発事業などが前期に比べ大幅に増加したため、前期比3.6%増の6,055億円となりました。

売上高は、開発事業などにおける不動産物件売却が増加したことおよび建設事業が順調に進捗したことにより、前期比22.8%増の5,808億円となりました。

利益につきましては、建築が資材価格の高騰などにより減益となったものの、開発事業などでは不動産物件売却増加により増益となり、売上総利益は前期比で増加し、販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は183億円(前期比18.1%増)と増益となりました。



業績の詳細については弊社コーポレートサイトをご覧ください <https://www.fujita.co.jp/company/performance/>

